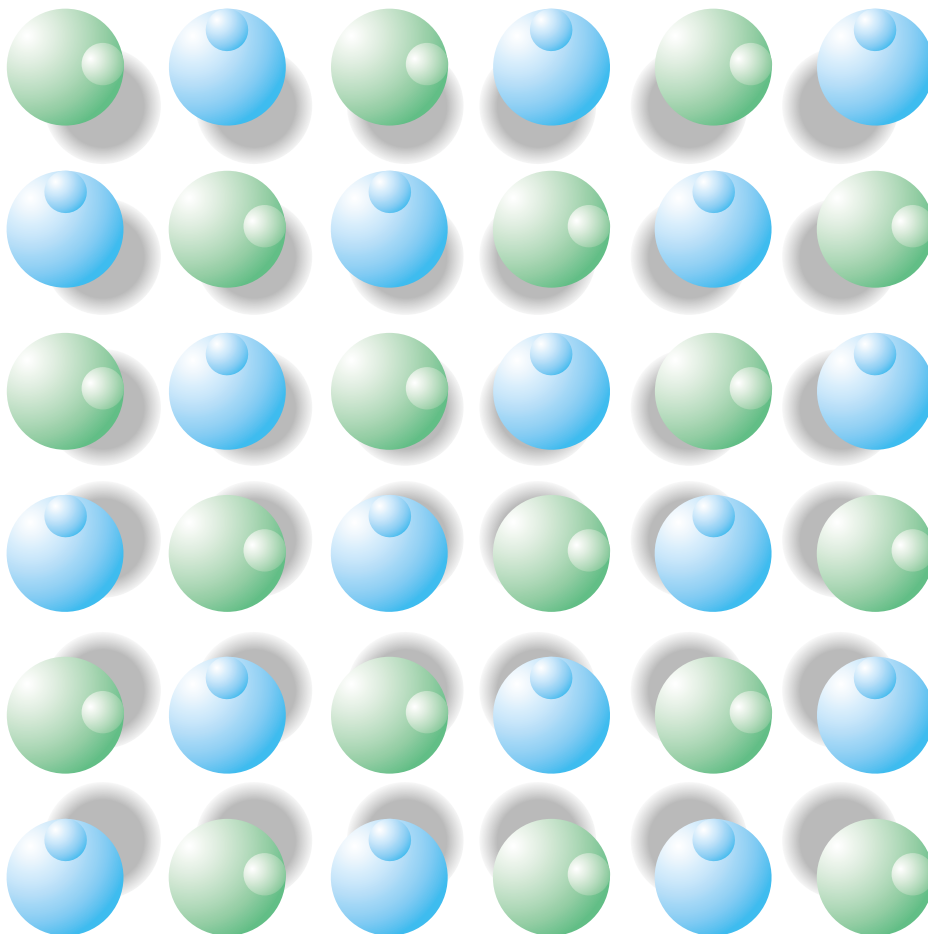
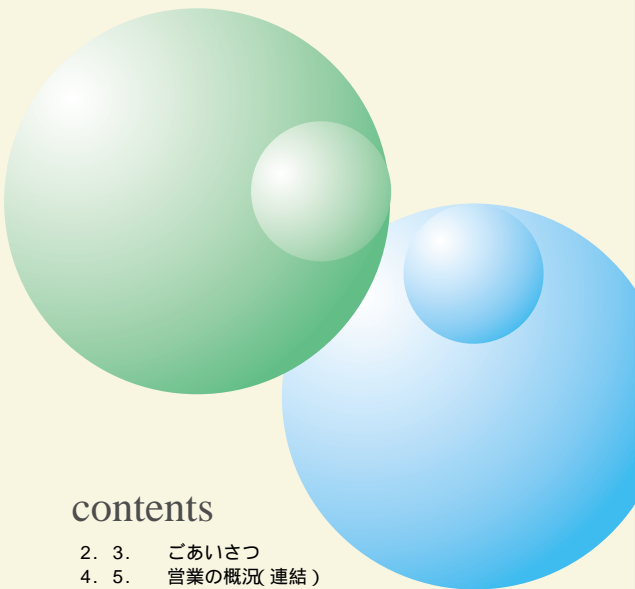


第53期 事業報告書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで





contents

- 2. 3. ごあいさつ
- 4. 5. 営業の概況(連結)
- 6. 7. 第53期納入実績
- 8. 9. セントラルユニグループのご紹介
- 10. 貸借対照表(連結)
- 11. 損益計算書、キャッシュ・フロー計算書(連結)
- 12. 13. 経営指標の推移(連結)
- 14. 貸借対照表(単独)
- 15. 損益計算書、利益処分(単独)
- 16. 経営指標の推移(単独)
- 17. 株式の状況
- 18. 19. 会社概況

ごあいさつ



代表取締役社長
松崎 新市

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社平成14年度(第53期)の事業報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当社グループの関連する医療設備機器業界におきましては、医療保険制度の見直し、薬価、診療報酬の引下げなどの総医療費抑制策や医療をサービスととらえ、安全で質の高い医療を効率的に提供するための医療制度改革が実行され環境が急速に変化しております。

このような市場環境に対し、当社グループは院内感染問題などの安全に対する意識の高まり、効率的な病院運営に対するニーズを受け、院内感染防止機器及び経営効率化機器を拡販いたしました。また、高度医療を担う急性期病院に対し、医療ガス設備、手術室設備、集中治療室ならびに病室設備など積極的に営業展開いたしました。しかし、公的予算の削減に加え、競争激化による受注単価の下落が響き誠に不本意ながら減収減益となりました。

今後につきましては、日々変化する市場環境及び経営環境に対応するため、迅速な意思決定を行い、スピード感のある経営を実行してまいります。また時代のニーズに適合した諸方策を着実に実施し、企業価値向上に邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

営業の概況(連結)

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

営業の経過及び成果

当期におけるわが国の経済は、日経平均株価がバブル後最安値を記録し、不良債権処理や企業倒産の増加による個人消費の冷え込み、設備投資の減少など景気の回復する機運が見られないまま推移いたしました。

さらに、医療を取り巻く環境は、医療費抑制策にもとづいた医療保険制度及び診療報酬体系の見直し、また安心で質の高い医療を目指した医療提供体制の充実、情報基盤整備に対する指針が出されるなど大きく変革しております。

このような動向を踏まえ当社グループは、病院内の安全に対する意識の高まりを受け、院内感染防止機器の拡販に努めました。また、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」が定めるPFIの導入や大学病院の独立行政法人化へ向けた取り組みなど、効率的な病院運営が注目されるなか、医薬品・診療材料の収納、保管及び搬送など物流管理を行うための経営効率化機器の販売に注力いたしました。その結果、医療機器その他の売上高は堅調に推移し、77億83百万円(前年同期比11.8%増)と

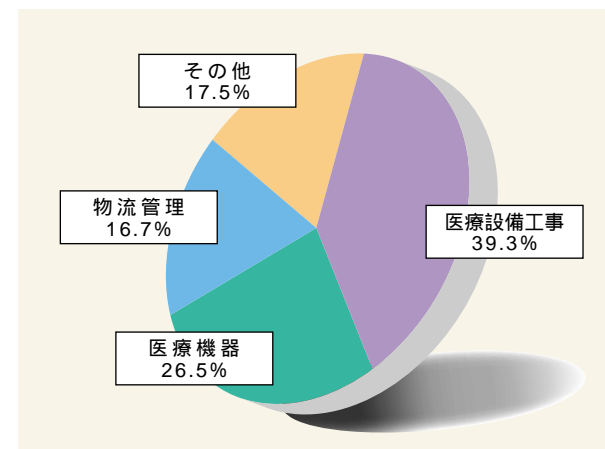
なりました。

一方、医療設備工事では高度な治療環境が求められている急性期病院の建て替え、リニューアルに対し、営業を強化いたしました。国、地方公共団体の公的予算の削減、競争激化による受注単価の下落、また平成14年4月から実施された診療報酬の引き下げなどの影響を受け、病院の設備投資が減少し、売上高は69億34百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

物流管理は、病院の経営効率化のニーズが高まり受託数が増加するなど堅調に推移し、売上高は29億42百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

以上の結果、売上高の合計は176億60百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

利益面では、受注獲得競争による単価下落が続く状況を踏まえ、コスト削減に努めたことで前年並みの売上総利益率を確保いたしました。売上高減少に伴う利益額の減少により営業利益は8億89百万円(前年同期比26.5%減)、経常利益は9億24百万円(前年同期比26.8%減)、当期純利益は4億13百万円(前年同期比29.9%減)となりました。



会社が対処すべき課題

今後の見通しにつきましても、先行き不透明感が強く、経済を取り巻く環境は厳しい状態が続くものと予想されます。

このような状況のもと国の医療費抑制策をうけた医療制度の改革がさらに進み、大学病院などの特定機能病院では、平成15年4月から包括払いが一部導入されるなど経営効率化へ向けた取り組みが進んでおり、また医療機関の機能分化の政策的な推進により手術を中心とした高度な治療環境を必要とする病院の整備が行われることも予想されます。

このような市場環境に対し、当社グループは、急性期医療を担う病院に対し、安全・確実性を追求した医療設備の構築をグループを通じてトータルに提供し、コンサルティングから保守管理まで一貫したサービスが提供できる強みを活かし、コア商品である医療設備機器のシェア拡大ならびに院内感染防止機器、経営効率化機器の拡販、物流管理事業の受託数確保に努めます。

平成16年3月期の連結業績予想につきましては、売上高184億円、営業利益9億12百万円、経常利益9億10百万円、当期純利益は4億36百万円を見込んでおります。

なお、当期の単独業績は、売上高125億19百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益5億83百万円(前年同期比33.8%減)、経常利益6億43百万円(前年同期比34.5%減)、当期利益3億4百万円(前年同期比36.6%減)となりました。当期の受注残高は、80億79百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

平成16年3月期の単独業績予想につきましては、売上高125億50百万円、営業利益6億20百万円、経常利益6億49百万円、当期利益は3億26百万円を見込んでおります。



1



2



3

静岡県立静岡がんセンター殿(静岡県駿東郡)
天井懸垂型環境整備機器「インケアポート」
手術室モジュールシステム
システムシンク
エアガイドシステム



4



5



7



6

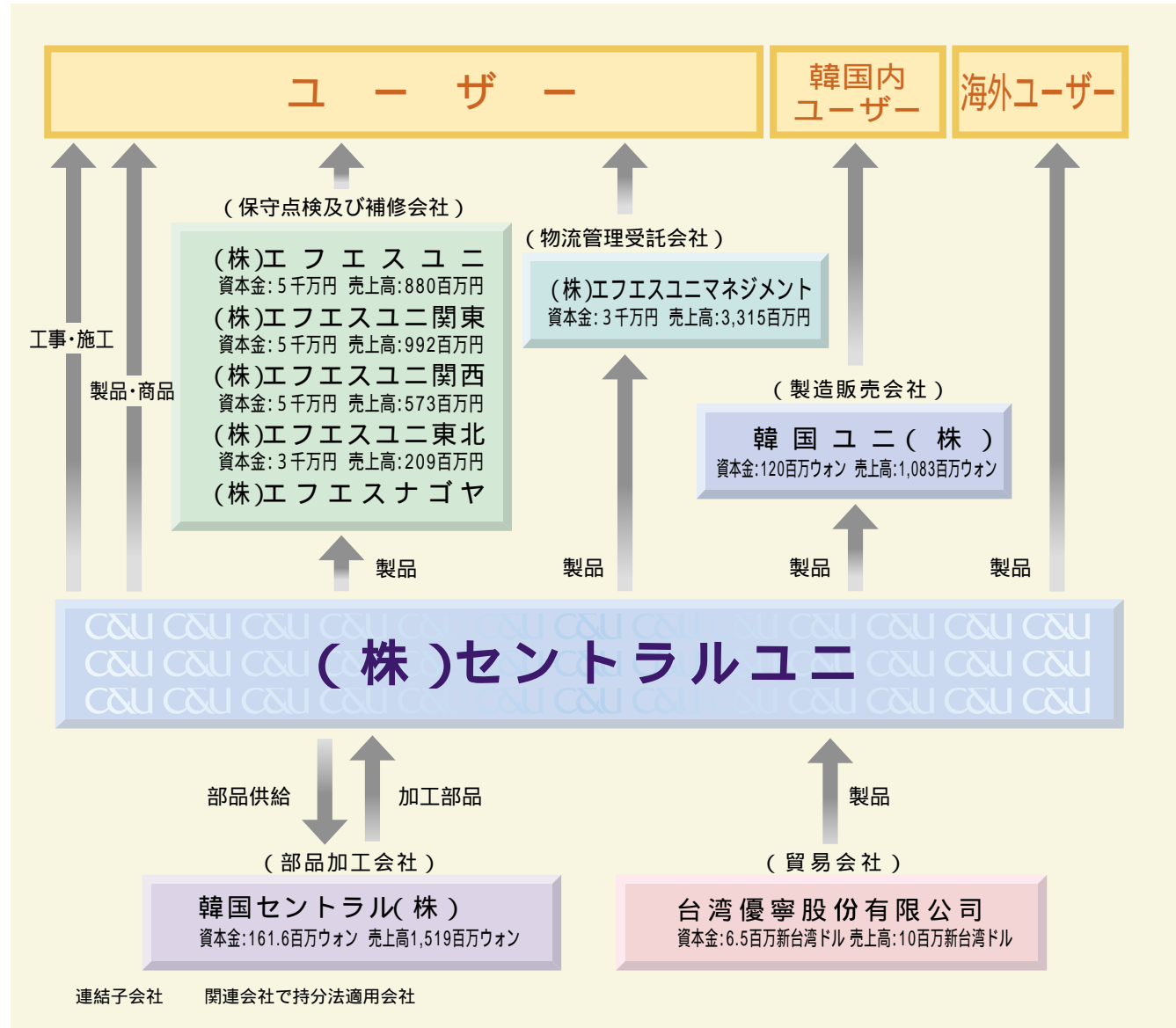
東京医科大学病院殿(東京都新宿区)
ICU用ウォールケアシステム
及び天井懸垂型環境整備機器「インポート」



8

京都桂病院殿(京都市西京区)
手術室モジュールシステム
ICU用ウォールケアシステム
及び天井懸垂型環境整備機器「インポート」

セントラルユニグループのご紹介



(株)エフエスユニ
 (株)エフエスユニ関東
 (株)エフエスユニ関西
 (株)エフエスユニ東北
 (株)エフエスナゴヤ

医療設備のメンテナンス業務および手術室、集中治療室などの消毒業務を行っております。治療環境における機能の維持とクリーンな環境づくりをめざし、緊急時にも迅速に対応できるよう地域に密着した活動を進めております。また、平成15年4月に4社の再編・統合を行いました。経営の効率化、合理化をはかり、さらに安全と安心を追求し、保全予防を活かしたファシリティサービスの提供を目指してまいります。

(株)エフエスユニマネジメント

セントラルユニが開発したSPD構想による物流管理システムの運営を病院から受託しています。医薬品・診療材料等の在庫、搬送、供給などを合理的、効率的に業務管理する事業で現在全国44病院と受託契約しております。また、病院情報システムにリンクした、医薬品・診療材料等の効率的な管理と個別原価把握を可能にした電子収納庫(ユニ・オムニセル)を販売しております。病院経営の効率化に対するサプライチェーンマネジメントの構築をとらえ、積極的に営業を行った結果、「静岡県立静岡がんセンター」様に納入することができました。

韓国セントラル(株)

セントラルユニの海外工場です。医療設備部品の加工・組立を行い、半製品の状態で日本(セントラルユニ)へ輸出しております。

台湾優寧股份有限公司

医療設備関連のコスト削減をはかるため、国外調達拠点として設立いたしました。海外市場での価格競争力を強めてまいります。

韓国ユニ(株)

韓国内の営業拠点です。医療設備機器の製造及び販売の事業展開をしております。

(注)1. 売上高は平成15年3月期実績となっております。
 2. (株)エフエスユニは平成15年4月1日付で(株)エフエスユニ関西を吸収合併し、社名を(株)エフエスユニ西日本に変更いたしました。
 3. (株)エフエスユニ関東は平成15年4月1日付で(株)エフエスユニ東北を吸収合併し、社名を(株)エフエスユニ東日本に変更いたしました。

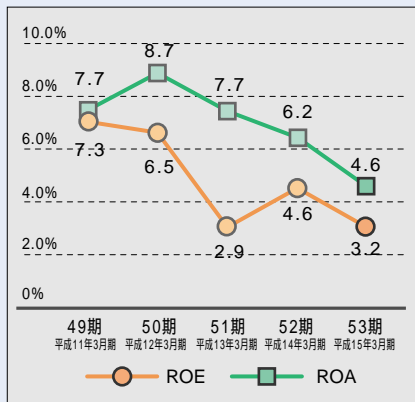
貸借対照表(連結)

資産の部		(単位:千円)	
科目	52期・平成14年3月期	53期・平成15年3月期	
流動資産	16,752,492	15,952,130	
現金及び預金	6,212,694	4,891,295	
受取手形及び売掛金	7,875,123	7,953,336	
たな卸資産	2,395,400	2,731,329	
繰延税金資産	107,024	132,495	
その他の貸倒引当金	176,567	258,214	
固定資産	3,661,851	3,901,203	
有形固定資産	2,496,529	2,715,726	
建物及び構築物	979,664	920,216	
工具器具及び備品	211,183	189,066	
土地	1,240,102	1,445,526	
その他の無形固定資産	65,579	160,917	
投資その他の資産	133,076	136,407	
投資その他の資産	1,032,245	1,049,069	
資産合計	20,414,344	19,853,333	
負債の部			
流動負債	6,622,329	5,895,158	
支払手形及び買掛金	3,963,853	4,339,286	
短期借入金	1,530,000	260,000	
その他の負債	1,128,476	1,295,871	
固定負債	815,205	865,378	
退職給付引当金	793,279	846,033	
その他の負債	21,926	19,344	
負債合計	7,437,535	6,760,536	
少数株主持分			
少数株主持分	81,865	78,257	
資本の部			
資本金	1,707,000	1,707,000	
資本剰余金	2,860,630	2,863,061	
利益剰余金	8,358,547	8,477,512	
その他有価証券評価差額金	14,773	10,785	
為替換算調整勘定	14,679	18,671	
自己株	1,780	3,576	
資本合計	12,894,942	13,014,540	
負債、少数株主持分及び資本合計	20,414,344	19,853,333	

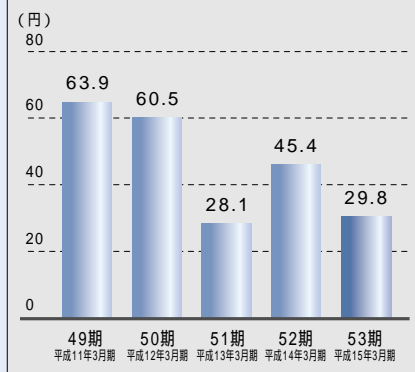
損益計算書、キャッシュ・フロー計算書(連結)

損益計算書		(単位:千円)	
科目	52期・平成14年3月期	53期・平成15年3月期	
売上高	18,538,324	17,660,867	
売上原価	12,618,297	12,027,036	
売上総利益	5,920,027	5,633,830	
販売費及び一般管理費	4,710,701	4,744,788	
営業利益	1,209,325	889,042	
営業外収益	84,674	61,031	
営業外費用	30,267	25,347	
経常利益	1,263,732	924,727	
特別利益	1,997	1,132	
特別損失	89,929	30,447	
税金等調整前当期純利益	1,175,800	895,411	
法人税、住民税及び事業税	562,625	512,863	
法人税等調整額	1,683	38,451	
少数株主利益	21,936	7,649	
当期純利益	589,555	413,350	
キャッシュ・フロー計算書		(単位:千円)	
	52期・平成14年3月期	53期・平成15年3月期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	188,847	736,986	
投資活動によるキャッシュ・フロー	225,036	577,736	
財務活動によるキャッシュ・フロー	666,599	1,538,059	
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,320	4,302	
現金及び現金同等物の増加(減少)額	698,468	1,383,112	
現金及び現金同等物の期首残高	6,911,162	6,212,694	
現金及び現金同等物の期末残高	6,212,694	4,829,582	

ROE(株主資本当期純利益率)
ROA(総資本経常利益率)



EPS(1株当たり当期純利益)



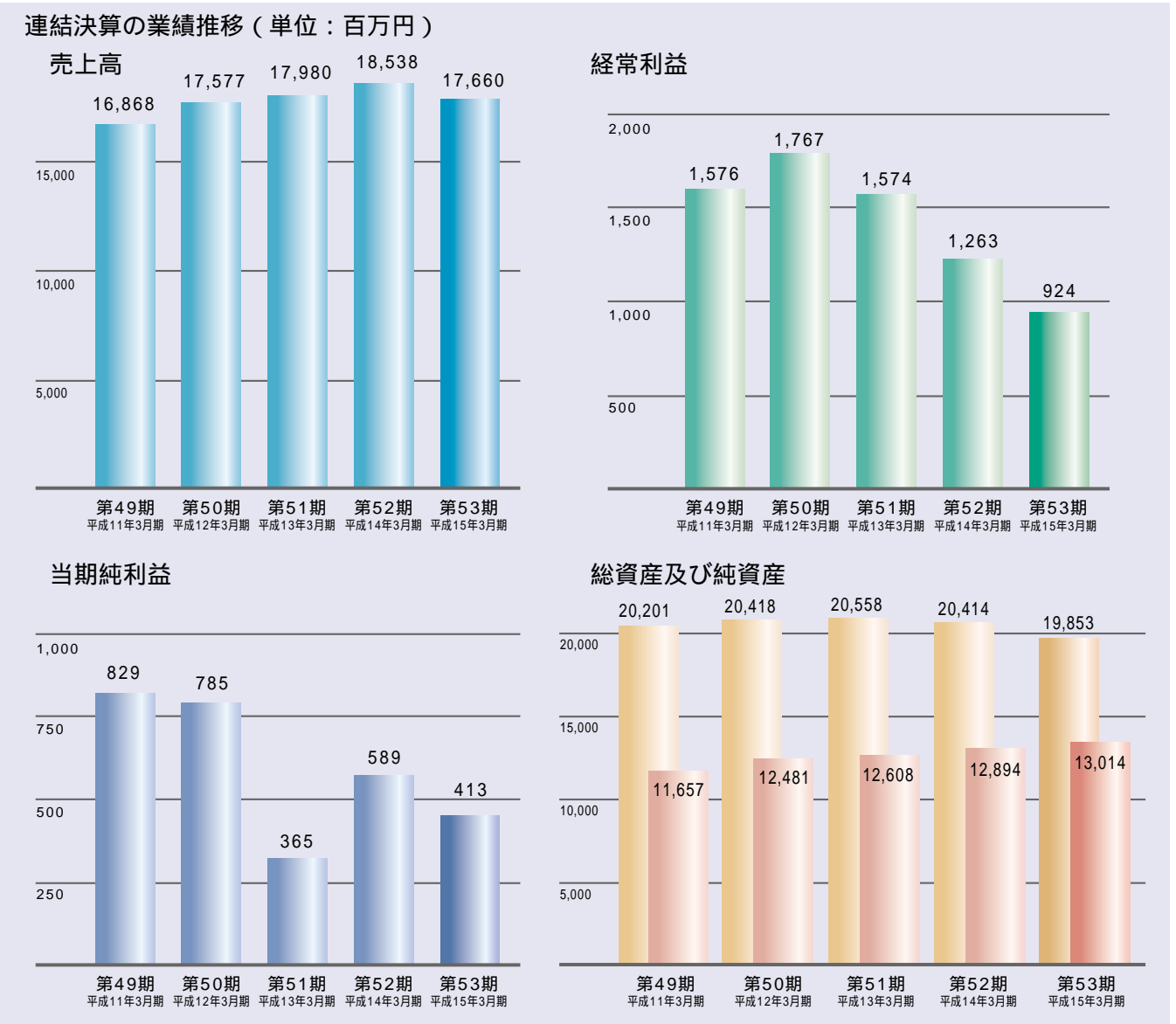
・営業活動によるキャッシュ・フロー
たな卸資産の増加により3億40百万円資金が減少しましたが、仕入債務及び前受金の増加により5億92百万円資金が増加したため、営業活動の結果得られた資金は7億36百万円(前期比5億48百万円増)となりました。

・投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による資金の減少3億96百万円及び投資有価証券の取得1億円を主な要因とし、投資活動の結果使用した資金は5億77百万円(前期比3億52百万円増)となりました。これは主に、メンテナンス子会社である(株)エフエスユニ関東の事業基盤拡充のために本社建設用地として購入したものです。
なお、第54期は首都圏における営業基盤の強化のため、新東京事務所の社屋及び土地の購入(約10億円)を予定しております。

・財務活動によるキャッシュ・フロー
財務体質の強化による短期借入金の減少12億70百万円を主な要因とし、財務活動の結果使用した資金は15億38百万円(前期比8億71百万円増)となりました。
また、新たにシンジケーション方式のコミットメントライン契約を締結し、資金調達枠を確保いたしました。
なお、新東京事務所の社屋及び土地購入のために8億円の借り入れを予定しております。

経営指標の推移(連結)

	第49期 平成11年3月期	第50期 平成12年3月期	第51期 平成13年3月期	第52期 平成14年3月期	第53期 平成15年3月期
売上高(百万円)	16,868	17,577	17,980	18,538	17,660
経常利益(百万円)	1,576	1,767	1,574	1,263	924
当期純利益(百万円)	829	785	365	589	413
総資産(百万円)	20,201	20,418	20,558	20,414	19,853
純資産(百万円)	11,657	12,481	12,608	12,894	13,014
自己資本比率(%)	57.7	61.1	61.3	63.2	65.6
1株当たり当期純利益(円)	63.90	60.53	28.14	45.43	29.80
1株当たり株主資本(円)	898.25	961.68	971.42	993.78	1,001.22
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		836	1,365	188	736
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		204	260	225	577
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		853	826	666	1,538
従業員数(人)		807	806	819	797



貸借対照表(単独)

資産の部		(単位:千円)	
科目	52期・平成14年3月期	53期・平成15年3月期	
流動資産	14,544,727	13,620,721	
現金及び預金	5,569,898	3,825,991	
受取掛手形	2,808,141	2,679,823	
売掛金	2,026,776	2,106,269	
完成工事未収入金	1,811,212	2,122,186	
たな卸資産	2,147,118	2,583,279	
繰延税金資産	56,906	74,883	
その他	139,672	243,286	
貸倒引当金	15,000	15,000	
固定資産	3,571,404	3,789,024	
有形固定資産	2,387,188	2,619,112	
建物及び構築物	957,850	900,172	
土地	1,240,102	1,445,526	(株)エフエスユニ関東の事業基盤 拡充のために土地を取得いたしました。
その他	189,235	273,413	
無形固定資産	28,556	25,588	
投資等	1,155,659	1,144,324	
繰延税金資産	295,573	298,508	
その他	860,086	845,815	
資産合計	18,116,131	17,409,745	
負債の部			
流動負債	5,483,786	4,718,942	
支払掛手形	2,051,690	2,124,959	
買掛金	943,489	1,489,279	
工事未払金	601,636	380,676	
短期借入金	1,300,000		短期借入金を完済いたしました。
未成工事受入金	65,814	285,090	
その他	521,155	438,937	
固定負債	661,720	693,767	
退職給付引当金	639,794	674,423	
その他	21,926	19,344	
負債合計	6,145,507	5,412,709	
資本の部			
資本金	1,707,000	1,707,000	
資本剰余金	2,860,630	2,863,061	
利益剰余金	7,419,549	7,441,336	
利益準備金	243,000	243,000	
別途積立金	6,000,000	6,200,000	
当期末処分利益	1,176,549	998,336	
(うち当期利益)	(480,261)	(304,300)	
株式等評価差額金	14,773	10,785	
自己株式	1,780	3,576	
資本合計	11,970,624	11,997,036	
負債・資本合計	18,116,131	17,409,745	

損益計算書、利益処分(単独)

損益計算書		(単位:千円)	
科目	52期・平成14年3月期	53期・平成15年3月期	
経常損益の部			
営業損益の部			
売上高	13,836,540	12,519,946	・売上高の減少 国、地方公共団体の公的予算の削減、競争激化による受注単価の下落、また平成14年4月から実施された診療報酬の引き下げなどの影響を受け、病院の設備投資が減少し、医療設備工事の売上高が減少いたしました。
売上原価	9,402,914	8,403,423	
販売費及び一般管理費	3,551,569	3,532,966	
営業利益	882,056	583,556	
営業外損益の部			
営業外収益	135,608	95,400	・経常利益の減少 受注獲得競争による単価下落が続く状況をふまえ、コスト削減に注力した結果、売上総利益率は前年並みに推移いたしました。が、売上高減少により利益額が減少いたしました。
営業外費用	36,305	35,917	
経常利益	981,359	643,039	
特別損益の部			
特別利益	1,997	1,039	
特別損失	88,148	27,376	
税引前当期利益	895,208	616,702	
法人税、住民税及び事業税	415,584	336,569	
法人税等調整額	636	24,167	
当期利益	480,261	304,300	
前期繰越利益	696,288	694,035	
当期末処分利益	1,176,549	998,336	
利益処分		(単位:千円)	
科目	52期・平成14年3月期	53期・平成15年3月期	
当期末処分利益	1,176,549	998,336	
これを次のとおり処分いたします。			
利益準備金			
利益配当金	259,513	194,578	
役員賞与金	23,000	14,550	・役員賞与金の減少 役員賞与金が前期比8,450千円減少いたしました。
別途積立金	200,000	100,000	
計	482,513	309,128	
次期繰越利益	694,035	689,207	

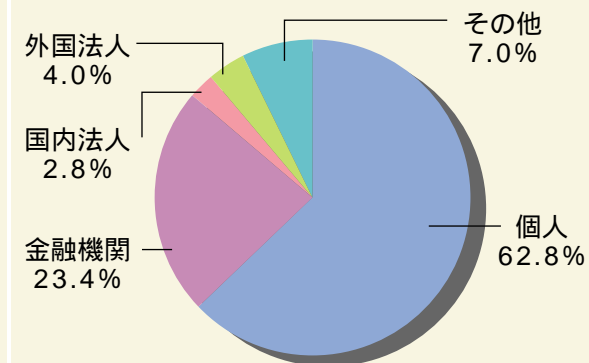
経営指標の推移(単独)

	第49期 平成11年3月期	第50期 平成12年3月期	第51期 平成13年3月期	第52期 平成14年3月期	第53期 平成15年3月期
受 注 高 (百万円)	13,659	12,748	13,747	11,185	12,347
受 注 残 高 (百万円)	11,366	10,635	10,902	8,251	8,079
売 上 高 (百万円)	13,224	13,479	13,480	13,836	12,519
経 常 利 益 (百万円)	1,328	1,446	1,275	981	643
当 期 利 益 (百万円)	734	641	332	480	304
資 本 金 (百万円)	1,707	1,707	1,707	1,707	1,707
総 資 産 (百万円)	18,746	18,527	18,601	18,116	17,409
純 資 産 (百万円)	11,104	11,671	11,787	11,970	11,997
自 己 資 本 比 率 (%)	59.2	63.0	63.4	66.1	68.9
1 株 当 たり 当 期 利 益 (円)	56.59	49.40	25.58	37.01	22.33
1 株 当 たり 株 主 資 本 (円)	855.59	899.27	908.19	922.54	923.72
従 業 員 数 (人)	215	226	240	246	237

株式の状況

■ 会社が発行する株式の総数	20,000,000株
■ 発行済株式総数	12,979,200株
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 株主数	1,079名 (前期末比 78名減)

株式所有者別状況



■ 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
増 田 貞 満	866,620	6.72
セントラルユニ従業員持株会	861,300	6.68
荒 井 範 雄	774,940	6.01
荒 井 精 一	622,440	4.83
株式会社みずほ銀行	585,000	4.54
田 中 貞 夫	506,000	3.93
株式会社西日本銀行	437,800	3.39
モルガン・スタンレーアンドカンパニーインク	423,000	3.28
第一生命保険相互会社	402,000	3.12
株式会社福岡銀行	397,600	3.08

会社概況 (平成15年3月31日現在)

会社名 株式会社セントラルユニ
英訳名 CENTRAL UNI CO., LTD.
代表者 代表取締役社長 松崎 新市
設立 昭和26年9月
資本金 17億7百万円
所在地 北九州市小倉北区清水一丁目13番20号
従業員 237名
支社 5ヶ所
支店 2ヶ所
工場 1ヶ所

取締役及び監査役 (平成15年6月26日現在)

代表取締役社長 松崎 新市
専務取締役 長谷川 昇
取締役 西坂 崇
取締役 松尾 尚弘
常勤監査役 藤原 孝儀
監査役 清水 政三
監査役 山口 要三
監査役 高向 幹範

主要な事業内容

医療設備工事 医療用ガス供給設備、手術室、ICUウォール、病室用ウォール
医療機器 湿潤器、吸引器、ユニ・オムニセル
物流管理 院内物流受託業務
その他 物品管理システム、フードサービス管理システム、ディスインフェクター、サインシステム、オートアンプルディスペンサー、ガス滅菌器(アンプロレン)

ホームページ <http://www.central-uni.co.jp>



本社



小倉工場



東京支社
(浜町センタービル7F)



九州支社
(博多リパレインイーストサイト6F)

関係会社

- 株式会社エフエスユニ
 - 株式会社エフエスユニ関東
 - 株式会社エフエスユニ関西
 - 株式会社エフエスユニ東北
 - 株式会社エフエスナゴヤ
 - 株式会社エフエスユニマネジメント
- (株)エフエスユニは平成15年4月1日付で(株)エフエスユニ関西を吸収合併し、社名を(株)エフエスユニ西日本に変更いたしました。
 (株)エフエスユニ関東は平成15年4月1日付で(株)エフエスユニ東北を吸収合併し、社名を(株)エフエスユニ東日本に変更いたしました。
- 韓国セントラル株式会社
 - 韓国ユニ株式会社
 - 台湾優寧股份有限公司



■(株)エフエスユニ・本社



■(株)エフエスユニ関東・本社





株主メモ

決 算 期 毎年3月末日
定時株主総会 毎年6月下旬
名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〒135-8722
電話お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (03) 5213-5213
同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公 告 掲 載 紙 日本経済新聞
決算公告のホームページのご案内

なお、当会社の決算公告は、今期より定款紙による決算公告に代えて、
貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページ
(<http://www.central-uni.co.jp>)に掲載することとしましたので、
こちらでご覧いただけます。